

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和3年7月5日

施設名	弓道場	所管課	文化生活スポーツ部 スポーツ課
-----	-----	-----	-----------------

1 施設の概要

指定管理者名	(公財)高知県スポーツ振興財団	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設所在地	高知市高埴12番1号		
事業内容	1 施設の運営に関する業務 2 施設の利用促進及び利用許可に関すること 3 利用料金の収受に関する業務 4 窓口業務に関する業務 5 施設及び設備の維持管理に関する業務 6 スポーツ振興事業等に関すること 7 その他施設の設置目的達成に必要なと知事が認める業務		
	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 1 面積：敷地面積：4,959.64㎡、建築面積：1,630㎡、射場本地面積：1,460㎡ 2 構造：弓道場本体：鉄筋コンクリート造2階建て、矢取廊下及び的場：鉄筋造1階建て 3 駐車場：15台 4 施設、設備 近的射場面積256㎡ 近的射場使用 28m/12人立、近的的場面積(178㎡) 遠的射場面積134㎡ 遠的射場使用60m/6人立、遠的場面積(72㎡) 巻藁コーナー(6台)、審判席・役員席、控え場、観客席・矢取廊下、トイレ・更衣室、 会議室(大会議室(92.8㎡)・中会議室(64.8㎡)・小会議室(15.9㎡)) 5 利用時間：8:30～21:00(受付時間は20:00まで) 6 休館日：12月29日～1月3日 7 主な料金 近的射場：10,310円(一般の方が団体利用として全日(8:30～21:00)使用した場合) 330円(個人利用(一般)) 遠的射場：6,170円(一般の方が団体利用として全日(8:30～21:00)使用した場合) 330円(個人利用(一般))		
職員体制	館長(武道館兼務)(1)、責任者(専門職員)(1)、専門職員(2)、短期職員(1)		

2 収支の状況

単位：千円

		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
収入	利用料	2,298	2,120	2,420
	県支出金	17,292	18,242	16,426
	手数料	564	543	500
	その他	188	459	163
	収入計 (a)	20,342	21,364	19,509
支出	人件費	11,877	10,378	10,979
	管理運営費	8,730	8,580	8,530
	その他			
	支出計 (b)	20,607	18,958	19,509
収支差額 (a)－(b)		△ 265	2,406	0

3 利用状況

	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	22,327	15,552	30,000
②利用者意見等の反映	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) ・スポーツ体験教室(令和2年9月5日)実施後にアンケート調査をした。参加数23名 ・弓道教室2期(令和2年9月19日から11月14日各8回) ・入門コース、初級コース、中級コース 実施後にアンケート調査をした。参加数52名 ・弓道教室3期(令和3年1月9日から3月6日各8回) ・初級コース、中級コース実施後にアンケート調査をした。参加数43名 ・ご意見箱の設置(常時)0件 		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者意見等を踏まえた対策 ・ご意見等への回答は、館内の掲示板に掲示し、利用者に広く周知を図っている。(主な意見とその対応) ・「弓道場無料体験教室」で一連の流れの作法を教えてもらう時間が足りなかった。→時間内で一連の作法を身につけるようカリキュラムを工夫することとした。 ・駐車場が少ない。 →多数の利用が見込まれる時は、近隣の施設等に協力をいただき、合計70台分のスペースを確保している。また、近隣の有料駐車場のマップを作成し、利用者に配布している。 		
	○ その他		
③その他特記事項			

4 令和2年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・法令・事業計画書・協定書(仕様書)等の内容を遵守し、適正な管理運営を行っている。 ・建築基準法、消防法等の法令はもとより職員の日常的な巡回による点検などにより、利用者が安全に施設を利用できる状態を確保している。 ・職員が近的・遠的場の芝の管理や建物周辺の植栽の管理を適切に行っている。 ・事故対応責任者、緊急連絡体制表を全職員に配布するとともに、事務室への掲示により、明確にしている。また、新型コロナウイルス感染症対策についても同様に周知徹底している。 ・災害発生時の対応手順に基づき、関係機関との連絡体制が整備されている。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の掲示板に加えて、デジタルサイネージを活用し利用者に行事予定や新型コロナウイルス感染対策を呼びかけ情報の発信に努めている。 ・「スポーツ体験教室」や「弓道場教室」受講者が弓道を継続できるよう、レベルに沿った段階コース別の教室を開催するなど、利用者のニーズに応じたサービス向上に努め、競技人口の拡大に繋げている。 ・利用者サービスの向上と職員の資質向上を目的に目標設定制度を導入し、年3回の職員へのヒヤリングを実施し、PDCAサイクルによる進捗状況を確認している。
③利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ○平成31年度利用者実績：22,327人 令和2年度利用者実績：15,552人(対前年比30.3%減) ※新型コロナウイルス感染症の影響で減少
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○収入について ・平成31年度収入(管理代行料を除く)は、3,050千円 令和2年度収入(管理代行料を除く)は、3,122千円(対前年比2.3%増) ○支出経費について ・平成31年度支出は、20,607千円 令和2年度支出は、18,958千円(対前年比8.0%減)
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、利用者数や利用料金収入は減少したが、対策を講じながら、「スポーツ体験教室」や「弓道教室」の開催などに取り組み、弓道人口の増、弓道場利用者の増、に向け努めている。立地を活かして会議室の利用促進に向けて積極的に広報活動を行っている。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの